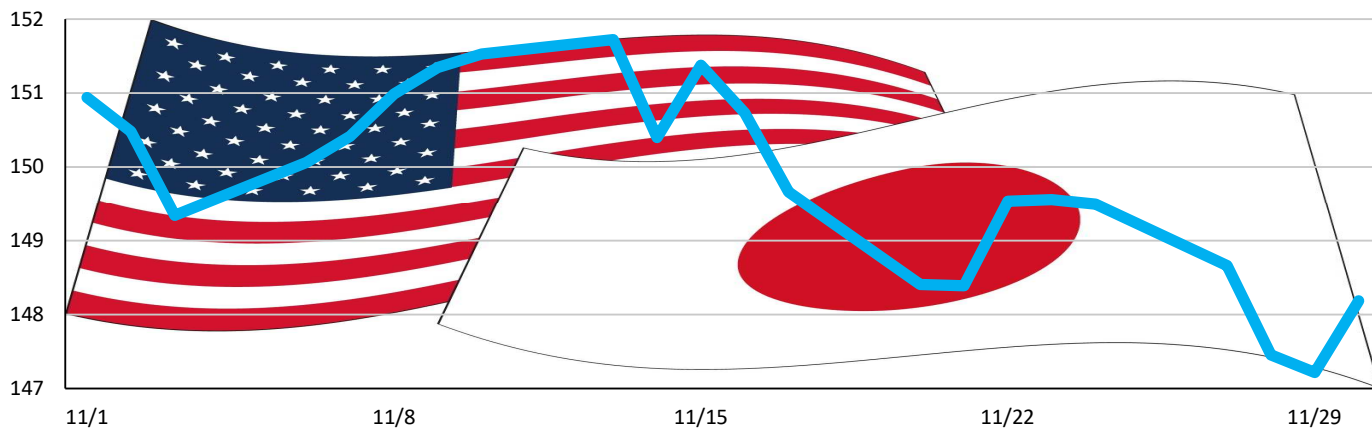


## MONTHLY REPORT

**先月の振り返り：**11月のドル円相場は151円後半～146円半ばで推移。神田財務官による円安けん制発言や米雇用統計が予想外に弱かったことでドル売りとなったものの、植田日銀総裁が金融緩和と政策維持をあらためて表明したことやパウエル米FRB議長が利上げ見通しについて強気スタンスを維持する発言などで円安ドル高が強まり、152円台が目前に迫った。ところが米消費者物価指数や生産者物価指数などの米経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで、利上げ打ち止め観測が広がりドル売りが進行。その後ドルが買い戻される動きも見られたが、ウォラー米FRB理事が利下げに言及した発言が伝わると再びドル売りが強まり、146円台半ばまで円高ドル安が進んだ。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## MARKET REVIEW

**米長期金利：**金利上昇局面では、企業の資金調達動きも高まり、企業業績向上が見込まれることから株価は上昇しやすいが、金利が高すぎると企業の資金調達コストも上昇することから設備投資等が縮小傾向となり、業績低迷不安から株価は下落しやすい。10月下旬に5%台まで上昇し続けた長期金利は、米経済指標の悪化で徐々に低下してきたことで、11月は株高ドル安の流れとなっている。市場では2024年前半に景気後退に陥り、その後緩やかに持ち直すとみている。そのことを踏まえて、長期金利の動向に注意を払っておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 19 (火)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 21 (木)	22 : 30	U S	米GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 22 (金)	22 : 30	U S	米PCEデフレーター	☆☆☆☆
12 / 23 (土)	0 : 00	U S	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 5 (金)	22 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 11 (木)	22 : 30	U S	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
1 / 12 (金)	22 : 30	U S	生産者物価指数 (PPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。